

第31回『親友』

第31回目の道徳では、異性の友達と友情を育んできた生徒の物語を通して、性別等にとらわれない友情関係や信頼関係について考え、友達を大切にしていこうということについて考えました。健太は、クリスマス会のプレゼント交換で、自分が編んだマフラーを出すと、みんなに笑われてしまいます。顔を上げられない健太に、「健太君って、天才？」と言って救ってくれたのが美咲でした。美咲は、健太の親友になります。母は、健太が「美咲は女なのにサッカーも釣りもうまい」と言うのを聞いて、「女だとか男だとか関係なく、自分らしく堂々と生きている美咲さんはすてき」と言い、健太は、そのとおりだと思いました。しかし中学に入り、美咲とサッカーをしていると、同級生からからかわれるようになります。相手に何も言えない健太。美咲は、その様子に黙って教室を出ていきます。沈黙の後、健太は美咲の後を追って走り出しました。

みんなの意見

友達を大切にすることについて、思ったことや考えたこと

- 男とか女とか全く関係なくというのは難しいかもしれないけれど、困っていたら助けて、気が合うなら一緒に遊んだり話したりして、友達として仲良くすることが大切なのだと思う。
- 自分が「大切な友達」と思うなら、友達が傷つけられたら男とか女とか関係なく、守ってあげることが友達を大切にすることだと思う。
- 友達はすごく大事だと思いました。男女関係ない。友達を助けるということは大事だと思いました。
- 周りにどう思われていても、大切なのは自分の気持ちだから、周りに何を言われても決めるのは自分で、自分の気持ちが一番大切だと思う。
- 気付いていないだけで、いつも周りからの視線が気になって喋っていなかったりしているかもしれないけど、今日の授業でそんなの関係なくクラスの人と話せたらいいなと思った。
- 私はこれまで周りの目だけを気にしていたけれど、今日の授業で「周りの目ではなく、自分がどうしたいか」が一番大切にすべきだと思いました。
- 周りからからかわれたりしても助けてくれたり、気の合う人が本当の友達だと思った。自分のことを助けてくれる親友は、大切にしていかなければと改めて思った。

大切な友達のことを、

みんなは大切にできていますか？

